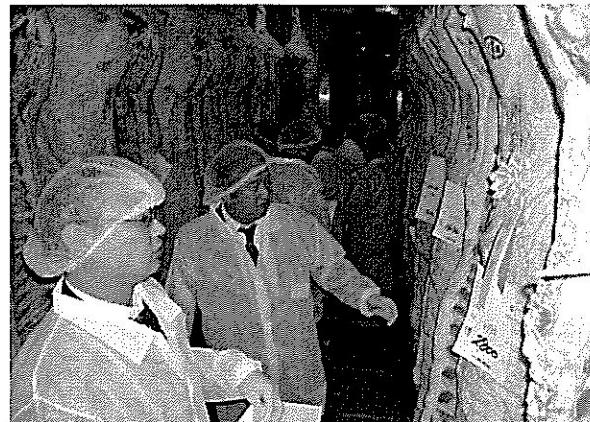


## ○ 第3回おきなわ和牛展示即売会を開催、36頭が出品—ミートコンパニオン

ミートコンパニオンは24日、埼玉・和光市のアグリス・ワンで第3回「おきなわ和牛」展示即売会を開いた。JAおきなわとの共催で、今回は36頭が出品。18事業者が参加してちぎり方式で売買、最優秀賞ほか優秀賞、優良賞、特別賞が各2席設けられ、うち最優秀賞は山城畜産（沖縄市）の出品牛が（黒毛和種、去勢、単価3,000円）でニイチクが購買した。36頭の平均枝肉重量461.7kgで、29カ月齢、ロース面積53.6cm、マーブリングスコア5.5、平均単価1,663円だった。また、牛肉のうま味に関連するオレイン酸含有率が計測され、36頭平均は54.8%だったという。

J Aおきなわによると、「おきなわ和牛」の生産は3,400頭（農家7戸600頭・JA肥育センターで2,800頭）で、年間出荷頭数は2,040頭（農家360頭・JA肥育センター1,680頭）。05年に沖縄県経済農協協同組合連合会とJAおきなわの統合を機に、従来のブランド「琉球王」を「おきなわ和牛」に改めて県全体のブランド牛として販売している。ミートコンパニオンでの取扱いは06年から、06年度は年間180頭、07年度は190頭、08年度250頭と販売頭数は増加している。

開会に当たってJAおきなわの仲間悟常務理事（農業事業本部加工・畜産）は「昨年来の飼料価格の高騰や牛肉消費の落ち込みで素牛飼



養も大変困窮しており、いつになつたら回復するか毎日のように心待ちにしているが、今回の展示即売会は大変私どもも励みになるので、引き続き皆様方の応援をお願いしたい」とあいさつ。

ミートコンパニオンの阿部昌史社長も「この展示即売会も『おきなわ和牛』というブランドを認知活動も含めて今回の3回目となる。出品頭数も少しずつ増え、認知度も高まっていると嬉しい。環境は厳しいが、今後も産地の沖縄と関東首都圏の消費地をつなぐ使命感を持って継続して取り組んでいきたい。一方、アグリス・ワン和光ミートセンターが月内にもマカオへの牛肉輸出施設として認定を受ける予定で、輸出を通じて国内の生産者への励みにつながれば」と述べた。

## ○ “プレ・クリスマス”、11月から「ピーターラビット」グッズ付き商品—KFC

日本ケンタッキー・フライド・チキン（KFC）は11月26日から、同社オリジナル「ピーターラビット」グッズが付いた商品を新発売する。同社では、11月末からクリスマスまでの約1カ月を“プレ・クリスマス”と称して、クリスマス・イベントを盛り上げたいと考え。“プレ・クリスマス”商品として発売されるのは、「ピーターラビット」をデザインしたオリジナルのカップ、ボウル、プレートの3つのテーブルウェアをパックにしたもの。

「オリジナルチキン」2ピース、骨無し「カ

ーネルクリスピー」2ピース、それに「フリフリポテト」1個がセットになったAパック（1,390円）、「オリジナルチキン」4ピースと「フリフリポテト」1個をセットにしたBパック（1,530円）の2つを用意。このほか、11月26日から12月25日までの期間限定で、「ピーターラビット」のランチョンマット、スプーン＆フォーク、ミニタオルのいずれか1つがもらえる「スマイルセット」（500円）も同時発売する予定だ。